

[ホーム](#) > [文化・スポーツ・観光](#) > [生涯学習](#) > [市民図書館](#) > 市民図書館所蔵のおすすめの本「2020年3月」

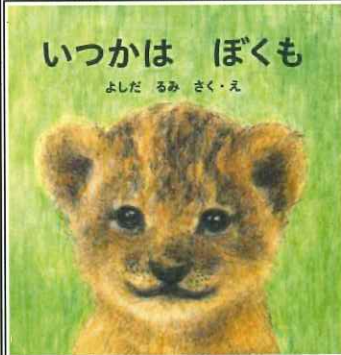
更新日：

市民図書館所蔵のおすすめの本「2020年3月」

3月のおすすめの本

読書は、広い世界を知り、心の世界を豊かに育み、大きな楽しみを与えてくれます。
 日々成長する子どもたちにとっては健やかな人間形成の上で、読書は手助けをしてくれます。
 大分市民図書館司書が選んだ今月のおすすめの本です。

児童書

	『ココロのいと つながってるよ』 パトリス・カースト／文 ジョアン・ルー・フリース／絵 浜 崎絵梨／訳 〔岩崎書店〕	雷の音が怖くてなかなか寝付けないリサとジャーミー。そんな二人にママは“ココロのいと”のことを教えてくれます。いつでもどんな時でも誰とでも、想ってさえいれば“ココロのいと”でつながっていること、それは“だいすき”という気持ちで世界中のみんながつながっているということなのです。子どもたちの不安な気持ちをしっかり受け止め“だいすきだから安心して”という家族の愛と、未来への広がりを感じさせてくれる一冊です。
	『いつかは ぼくも』 よしだ るみ／さく・え 〔国土社〕	おとうさんをテーマにかかれた幼児用絵本です。ライオンやクジャク、キリンなどいろいろな動物の子どもがおとうさんのすごいところを教えてください。最後にはこの絵本を読んでいる子どもが自分のおとうさんを見て……。色鉛筆で描かれたやさしい絵に大人も癒されます。

一般書

	『最新図解女性のADHD サポートブック』 榊原洋一・高山恵子 / 著 〔ナツメ社〕	ADHD（注意欠陥多動性障害）は子どもの発達障害で、とくに男の子に多いと考えられてきました。しかし、大人になってからADHDと分かる女性が増えてきています。女の子のADHDは特性が目立ちにくく、本人が感じている困難が気づかれないままになりがちです。この本には、女性のADHDに気づくためのポイントや基礎知識、向き合い方や対処法がわかりやすく書かれています。
	『お年寄りにもおはなしを！』 山根玲子 / 著 〔文芸社〕	この本は高齢者のための「おはなし会」について、本の選び方やプログラムのつくり方、高齢者施設を訪問する時の心構えなどが書かれています。実際に著者がボランティアとして活動した体験を元に書かれているので、とても具体的で説得力があります。これから高齢者のためのボランティアを考えている方にはお役立ちの一冊です。

お問い合わせ

教育委員会事務局教育部社会教育課大分市民図書館

電話番号：(097)576-8241

ファクス：(097)544-5615